



1学年
通信

鳳高校

第 7 号
2019、6、12 (水)
北海道小樽潮陵高等学校
令和元年度第1学年団

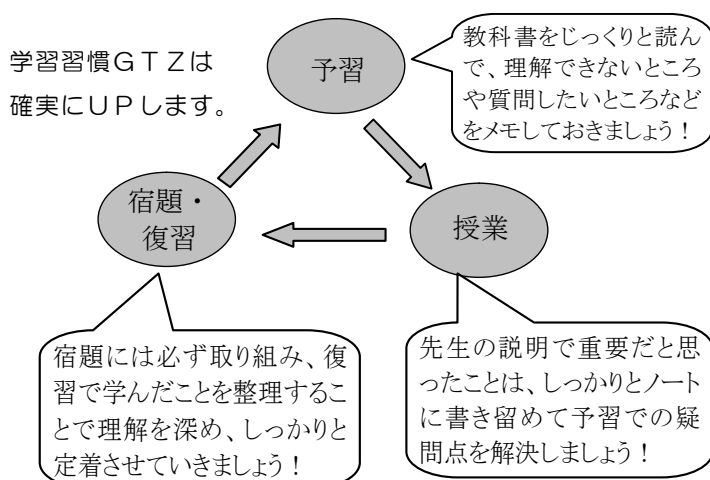
定期考査を終えて

2019年6月4日～6月7日

1年生のみなさん、潮陵高校で初の定期考査を終えてどうですか？定期考査が終わった金曜日から今日までのように過ごしましたか？先生は、金曜日の放課後に図書室で勉強している3年生の姿を見ました。定期考査は、みなさんの高校生活において重要なイベントです。しかし、受験して終わりというものではなく、あくまで通過点です。すなわちチェックポイントです。みなさんに考えていただきたい二つのポイントをあげたいと思います。

1. 「予習→授業→宿題・復習」の学習サイクルは身につけていたか

高校学習の「黄金サイクル」



6月は「高校生」としての学習習慣を確立するために大切な時期です。特に上図のような「予習→授業→宿題・復習」の学習サイクル（北大で先輩が言っていたサイクルです）を身に付けていくことが大切になります。毎日の授業をしっかりと理解するためには、「予習→授業→宿題・復習」の学習サイクルが最も効果的です。予習で教科書のわからないところを明確にして、授業でその疑問点を解決し、学んだことや理解したことを宿題や復習に取り組んで整理することで、これからますます難しくなる高校の授業にもしっかりとついていくことができます。高校の授業は、ただ「受ける」だけではなく、「活用する」という意識を持って取り組むことが大切です。少しでも早くこの学習サイクルを身につけましょう。こ

れまでの学習習慣を振り返り、今後どのように改善すべきかを考えてみましょう。

そのためにも「毎日、何時から何時までは机に向かう」「わからない英単語は、前後関係から意味を類推してから辞書を引く」など基本的な取り組みができているかを自分で確認して改善点を明確にする必要があります。自分の学習習慣を振り返り、それを生かして改善・継続していくためには、学習記録を残すことが有効です。

2. テスト問題のやり直しー理解の定着ー

今週、定期考査の答案が返却されています。返却された答案は宝の山です。「潮陵鉱山」と言っても過言ではありません。では、定期考査の答案で「お宝」はどこに眠っているのかということ。みなさんを嫌な気分にする×印がついている所です。ここは「知識がありませんよ」「知識はあるが練習不足ですよ」と、みなさんが学ぶべきポイントを先生たちがやさしく示してくれています。「え～っ」「ホントにいい」など、いろいろ言いたいことはあると思いますが、本当です。やり直して下さい。

定期考査は、日常授業を教えて、みなさんの様子を知っている先生が、「ここはポイントだよ。覚えているかな。」と考えて作成してくれた問題です。授業で習ったことで、何の理解が定着していて、何の理解が定着していなかったのか。しっかりと自分自身を見極めて改善の参考にして下さい。

お知らせ

模試講習代金の徴収について

今年度から、模試・講習等の代金徴収を、本校進路室前に設置してある券売機で行うことにいたします。そこで、記名交通系カード (Kitaca Suica Pasmo等 SAPICAは対象外) をあらかじめ購入していただくこととなりました。紛失・盗難対策のため、カードは記名のものを、ご用意していただくことになります。1学年は潮陵祭終了後の7月10日 (水) から夏期講習代金の徴収に使用しますので、それまでご購入をお願いいたします。

